

GIGA スクール構想関連で24億円も必要?!



イラストボックス Yakko Box さんより

28日、2月補正予算については、コロナウイルス対策以外の予算について、とがし豊議員が討論に立ちました。補正の中身については、国の補正予算を活用し、道路・橋梁・河川の防災・減災対策や災害時に避難所となる学校施設の環境改善が主な内容であったため、賛成しましたが、いくつか問題点を指摘しました。

小中学校の構内LANの敷設に24億円というのは、国の「GIGAスクール構想」によるもので、小中学生にパソコン等を1人1台使用できるようにすることをめざして、データ通信などを使用可能とするための設備です。とがし豊議員は、「教育現場のIT環境の整備や個々の子どもにあった学習を保障することは大切」とした上で、「GIGAスクール構想が不登校対策になる」とは「幻想である」と指摘。今、最も必要なのは、「ひとり一人の子どもに寄り添って『学び』を保障するため」に「教員やスクールカウンセラー等を増やすなど、現場の体制の抜本的な充実」だと訴えました。

その他、**大宮交通公園**の再整備事業では、「パークPF1手法」によって、ゴーカートがなくなってしまう問題を指摘し、地元企業に分離分割発注すべきと求め、また、**鴨川東岸線**第三工区の2億8百万円については、総事業費が70億円もの同事業を中止し、くらし応援の予算に転換することを要求しました。

2020年度予算案へ、市民の皆さんから次々意見が届いています!

- 新型コロナウイルスの影響が深刻。祇園町でも先が見えない。5月連休まで続いたら、家賃・光熱水費がかかるところは行き詰まる。(商工関係者)
- 新型コロナウイルスの影響で、タクシー業界は、売り上げが4割になった。観光一辺倒の行政の破たんだ。区役所の対応は、「本庁に聞いてくれ」と要求を真摯に取り合わない。区役所に権限と予算をつけるべき。(西京区元タクシー運転手)
- 大原のリゾートホテル誘致については運動で凍結させているが、1万2千㎡がすでに人手に渡っている。計画を明らかにしてほしい。(大原地域の住民)
- 介護認定給付業務について、32人残すとなったが、経験も資格もある人が試験で落とされている。委託先のテンプスタッフでは、まだ40人しか確保できていないとの情報もある。介護のための住宅改修事業については、区役所でも受け付けると言っていたのに、すべてセンター1カ所で行うとなると、サービス後退だ。(労働組合役員)
- 介護認定給付業務の委託事業者の応募は1社の

みで、出来レース。委託の決め手となる資料は、全部黒塗りで全くわからない。区役所のあり方、構造そのものが問われている。(労働組合役員)

- 夏季歳末特別貸付の廃止については、市は「役割が終わった」と説明しているが、そうは思わない。予算案発表から時間が短く、運動を組織するもの困難で腹立たしい。加齢に伴う難聴の補聴器購入費補助も要求していく。(福祉団体)
- 全員制の中学校給食は、市長選挙で大きな争点となった。4カ月で2万2000筆の署名が集まった。請願の審議での自民党・中村三之助議員の発言は、請願権の否定だとの抗議声明を発表した。(小学校のような全員制の中学校給食を求める連絡会)
- 学校跡地については、公共財産であり、本来子どもものもの。企業の稼ぐ場ではない。小中一貫校は、マンモス校をつくり、地域と学校のつながりを断ち切るもの、メリットはない。(元教職員)

